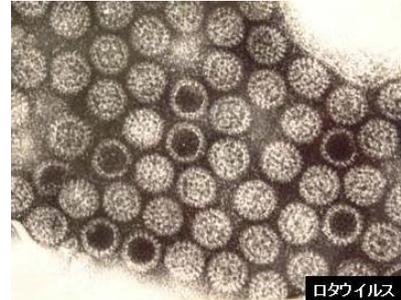


## ロタウイルスについて

1973年に乳幼児の下痢症患者から発見されたロタウイルスは、全世界に分布しており、生後5歳になるまでに事実上100%の子供が感染する。

患者のふん便やおう吐物に排せつされるウイルスが感染源となり、経口感染する。潜伏期間は約3日で、下痢、腹痛、吐き気、発熱、おう吐が主症状である。ロタウイルスによる胃腸炎症状は他のウイルスによる下痢症に比較して症状が重く、脱水症状による入院を必要とする場合もある。

最小感染量は10個と非常に微量で極めて感染力が高く、集団発生例ではヒトからヒトへの感染が多い。ロタウイルスはノロウイルスと比較して、食品を介した感染例は少ない。しかし、感染した調理従事者からの二次汚染が推定される食中毒事例は、ノロウイルスと同様に発生している。



### 【ロタウイルスによる食中毒の予防】

- 1 トイレの後、調理をする前、食事の前にはしっかりと手を洗うこと。
- 2 下痢やおう吐、風邪に似た症状がある場合には、調理に従事しないようにすること。
- 3 盛り付け作業時、加熱工程のない食品を扱う時などは、使い捨て手袋やマスクを着用し、適宜交換すること。

### ◎ 感染症予防の注意点

感染者の便やおう吐物には大量のウイルスが含まれています。室内で吐いてしまった場合などは、次により処理してください。

- 1 室内の換気を十分に行なうこと。
- 2 使い捨ての手袋を使用するなど、直接触れないよう注意しておう吐物を取り除くこと。
- 3 おう吐物で汚れた床などは周囲を含めて塩素系漂白剤で消毒すること。
- 4 処理後は石けんで十分に手を洗うこと。
- 5 汚れた衣類やシーツなどは熱湯や漂白剤で消毒後、他の衣類等と分けて洗濯すること。